

こおりまち

議会だより

令和5年春号 VOL.132

再開
通
宣
言

待ちわびた再開通

3月定例会

令和5年度一般会計予算

60億9,260万円を可決… ⑦

「住み続けたい」と思う予算か …………… ⑮

一般質問（7名登壇）

「議会モニター」一年間を振り返って …… ⑳



桑折町議会へ

3月定例会

会期：3月1日～17日(17日間)

提出議案 33件 審議採決

条例制定2件、条例改正5件、条例廃止1件、契約締結1件、その他(町道認定1件、諮問1件)、補正予算6件、議会提出条例制定1件、意見書3件、令和5年度一般会計・特別会計・水道事業会計予算7件、同意1件、陳情4件

令和5年度予算6つの方針(主な施策)

1、「活力と賑わいに満ちたまちづくり」

- 30周年記念献上桃の郷元気応援事業 5,176千円
桑折町地域おこし協力隊委託事業 6,240万円
ニホンザル被害対策事業 165万円
空き店舗出店支援事業 1,496千円
- 伊達桑折IC周辺町道設計業務 990万円
町都市計画マスタープランの見直し 7,562千円

2、「危機管理に備えた安心安全のまちづくり」

防災力強化事業 1,002千円

3、「暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり」

- 耐震診断・耐震改修・ブロック塀改修事業 438万円
空家等対策事業 3,499千円
- 町道・水路維持管理 3,000万円
配水設備の建設改良事業 26,119千円
公営企業会計移行業務 1,643万円
- 住宅用再生可能エネルギーシステム設備等設置費補助金 353万円

4、「健康長寿で元気なまちづくり」

- こおり健康楽会 4,131千円
- 親子スポーツ・健康事業 300万円
第三次健康づくり計画策定に係るアンケート調査 1,265千円

5、「子どもを大切にするまちづくり」

- ネウボラ事業(子育て世代包括支援センター・地域子育て支援センター) 19,775千円
給食費保護者負担軽減事業 48,629千円
英語教育推進事業(中学生の異文化体験事業) 2,722千円
GIGAスクール構想の推進 38,368千円
- 認定こども園等施設整備費補助金交付事業 345,605千円

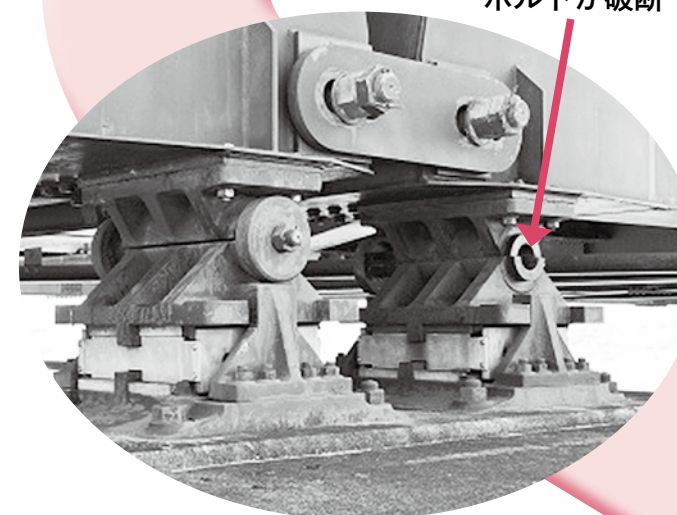
6、「交流で絆を育むまちづくり」

- 歴史と文化を活かした魅力体感発信事業 1,000万円
桑折町若者定住促進事業 1,609万円
(仮称)都市再生整備計画(第2期)策定業務 3,425千円

※○については、次ページ「施政方針を問う」に掲載

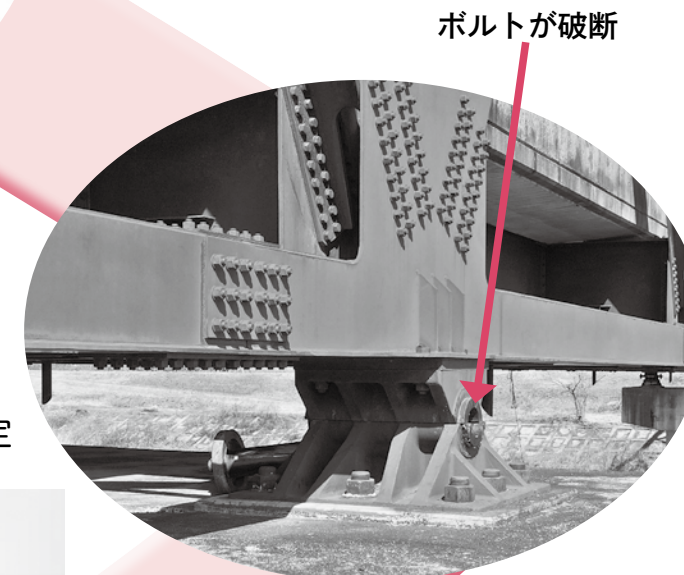
昭和大橋

再開通までの流れ



令和3年2月13日
最大震度6弱

災害復旧工事費 8,635万円
補助金(国・県) 5,759万5千円
町持ち出し 2,875万5千円



令和4年3月16日

最大震度6弱が再び襲う
災害復旧工事費 1億9,500万円
・県が代行して行ったため補助金は未決定



安心して通れるようになりました

施政方針を問う

1. 活力と賑わいに満ちたまちづくり

町のお金、使い道の優先順位は

ＩＣ周辺、郡役所、蚕糸、優先に

岡本 貴士 議員

問 行政事業では、目の前の緊急課題のみならず、将来にわたる課題に対応する必要である。特に歳出は、扶助費等の社会保障費や公共施設維持管理費の増加など厳しい状況であることから、公共施設の削減や事業の民営化など、理想ばかりを追うのではなく、現実を見据えた取り組みが必要だと考える。そこで、更なる財源の確保、優先順位をつけた計画的な財政運営に対する基本的な見解を伺う。

答 優先的、計画的に予算配分したものでして、伊達桑折インターチェンジ周辺の土地利用、旧伊達郡役所周辺の整備、福島蚕糸跡地の利活用の事業があげられる。

献上桃所得向上に繋がる方策は

引き続きブランド化を図る

鈴木 隆志 議員

問 献上桃指定30周年という節目を迎えるにあたり、「献上桃」のブランドを確固たるものとするため、全国的にPRを展開し、今後の

生産維持、農家所得向上につなげていくことが、わが町の将来に向けた農業振興に重要と考えるが町長の所見を伺う。

答 福島と言えば、「桃」「あかつき」というイメージが全国的に定着している。わが町において、重要な農産物となっている桃は、市場価格が高い「あかつき」に一時的に生産が集中しており、今後において、早生、晩生の生産向上に取り組んで行く必要がある。引き続きブランド化を図り、農家経営が続けていけるよう町として支援していく。

ＩＣ周辺の早期開発の実現性は

民間活力の活用で弾みがつく

佐藤 武朗 議員

問 ＩＣ周辺の土地利用計画は、農振除外・農地転用などのハードルが高かったが「地域未来投資促進法」の活用で民間による具体的な開発計画が進められる。これは周辺エリアの開発の突破口となり、早期開発の実現性も高くなると考えるが、今後の町長の見解は。

答 農産法をはじめ各種の手法を模索してきたが実現に至らなかった。企業立地の相談をしている中で、県からこの制度の紹介と同時にＩＣ周辺の有益性について十二分の理解をいただいた。要望に上がっているのは瀬戸場線と産ケ沢との間の20haの開発についてだ。開発の主体は民間活力を活用していくことであり、この地区のポテンシャルを十分に感じ取っていただき、残された他の開発にも弾みがつくものと考えている。

3. 暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり

道水路、特に農道の維持管理は

6月議会補正予算で導入する

佐藤 榮三 議員

問 町内会等の要望は、人通りの多い生活道路と思う、本町には田園地帯を通る町道(旧農道)がまだまだ未整備の状態で危険な箇所も見られる。維持管理が行き届かず、路面の凹凸が激しく通行に支障があり、桃の運搬時には車の振動で傷が付き格外になるケースがある。田んぼ道では機械の出入りに支障がある。このような農道の維持管理についてどのように考えているものか伺う。

答 多面的機能支払い交付金制度関連団体の中では、人力での作業が困難ことから、機械の導入を検討し、実証実験をしてそれなりの効果を確認しているところがある。道路整備の一手法として6月議会補正予算で1台導入し効果が確認されれば関連団体と協議検討しながら進めていく。



整備を必要とする農道

6. 交流で絆を育むまちづくり

シティプロモーション取り組みは

新規事業を実施する

石幡 政子 議員

問 令和5年度は新型コロナウイルス感染が5類に移行される。アフターコロナにおけるシティプロモーションはどのように進めていくのか。

答 「献上桃の郷こおり」のブランドを広くPRしていくための継続事業として、仙台圏に向けての「楽天」のサポート、桃の販売。また年賀状でのPRや、グッズの活用を進めていく。新規事業として桑折町のPR用テレビ番組の作成を予算化した。多くの視聴者に「献上桃の郷こおり」を周知できるものとする。

在京桑折会の開催は

「あり方」を含め考える

半澤 高 議員

問 「交流で絆を育むまちづくり」とあるが、以前開催していた「在京桑折会」の開催についてどのように考えているのか。

答 在京桑折会に関しては、以前は毎年開催していたが、参加者の固定化などの問題があり、次年度予算には計上していない。「あり方」そのものも含め、今後の開催について検討する。

地球温暖化対策への取り組みは

一人ひとりが今できることを

川名 静子 議員

問 地球温暖化が叫ばれてから久しい。この間町は、太陽光発電、地中熱利用、電気自動車等へ取組んできた。

これは2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにするための具体的取り組み内容だ。本町においては毎年の削減目標が達成されていない。「悲鳴を上げている地球」をこのまま次世代へ渡せない。町民がすべきこと、自治体が行うべき内容と目標を打ち出し、責任を持って取組むべきと考えるが町長の考えは。

答 「地球温暖化対策」は大変大きな、難しい問題と捉えている。全世界で取組むべきこと。一人ひとりが今できることを分かり易く示す等、自治体としても対応していく。

4. 健康長寿で元気なまちづくり

地域部活動の取り組みは

指導者支援を含め進める

羽根田 ひとみ 議員

問 生涯スポーツ分野で大手スポーツメーカーと連携し、「親子スポーツ・健康事業」を実施とあるが、どのような事業を計画しているのか。また、親子スポーツ・健康事業のみならず、地域部活動(先生方の負担軽減のため中学校の部活動を地域・自治体がバック



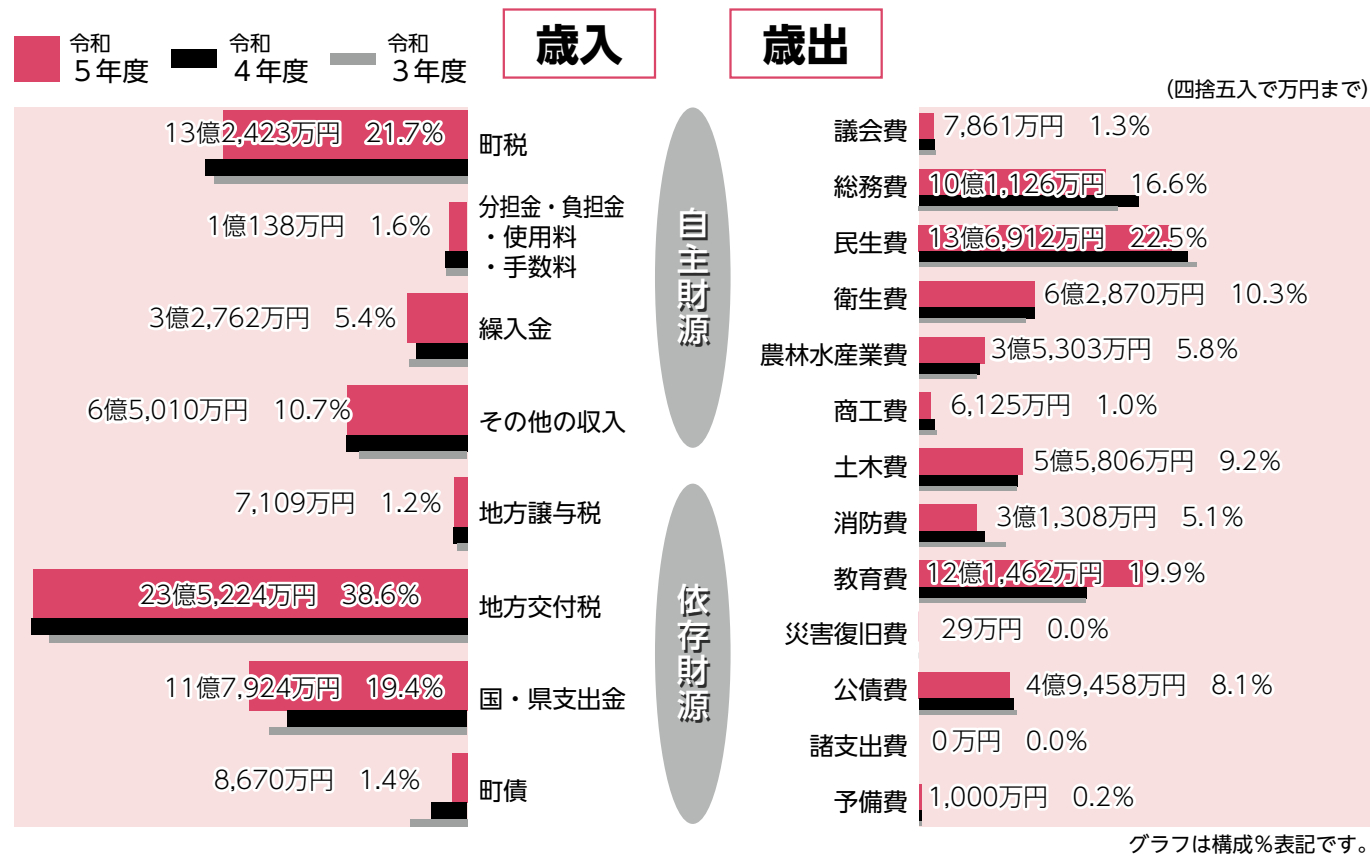
可決

60億9,260万円

7.8%増

(要因：地方交付税の増額
県支出金の増額)

総括質疑



令和5年度 一般会計予算

議会がただす！

「入るを量りて、出ずるを為す」

総括質疑

歳入の主なもの	令和5年度予算額	対前年度増減額
町税	13億2,423万4千円	531万円増
地方交付税	23億5,224万5千円	1億6,136万3千円増
地方贈与税	7,108万6千円	▲72万7千円減
地方消費税交付金	2億8,886万7千円	280万7千円増
国庫支出金	5億1,066万6千円	▲816万4千円減
県支出金	6億6,857万円	2億8,058万1千円増
寄附金	1億5,700万1千円	3,500万円増
繰入金	3億2,761万7千円	6,883万8千円増
町債	8,670万円	▲9,410万円減

歳出の主なもの	令和5年度予算額	対前年度増減額
普通建設事業費	5億6,612万1千円	2億2,832万7千円増
認定こども園等施設整備費補助金	3億4,560万5千円	3億4,211万9千円増
町道新設改良事業費	6,850万3千円	2,029万円増
人件費	14億3,479万8千円	▲806万円減
物件費	11億8,515万9千円	8,266万1千円増
扶助費	5億5,811万2千円	468万1千円増
補助費等	6億7,391万7千円	4,697万1千円増
公債費	4億9,626万8千円	2,198万1千円増
繰出金	7億3,726万6千円	▲1,442万2千円減

問 昨年度に比べ若干ではあるが予算減額。理由はコロナ禍の影響で活動団体が減ったということだが、今後必要な予算ではないか。

答 いきいきサロンは大事な事業だと考えている。補正予算で検討する。

いきいきサロンの今後は

羽根田ひとみ議員

写真：いきいきサロン松原

問 施設方針にしたがい町内会要望等の町民・地域の要望を踏まえ、適切な維持管理に対応できる予算措置に努め、今後において、資材高騰等による工事経費を考慮し、道路整備改良、舗装率の目標達成に向け計画的に実施していく必要があると考えるが町長の所見を伺う。

答 施設方針にしたがい、その重要性、緊急性、危険度等を考慮しながら優先順位を付け対応している。今後、資材高騰等の要因の変更の中で、年間計画予定している工事が、実施できない場合は、補正予算を組むなど、今後においても、計画的に対応していく。

道水路の整備維持管理は

鈴木隆志議員

令和5年度一般会計予算

総括質疑

※総括質疑とは一般会計及び特別会計予算案の質疑について、町長等に総括的見地から質疑を行うもの。

町の収入(歳入)の試算は

岡本貴士議員

問 総務省が示した「令和5年度地方財政計画」によると、地方税が3.8%増になると見込まれている。これと比較して、令和5年度の本町予算の町税は0.4%増の予算である。歳入をどのように評価しているものか伺う。

「令和5年度地方財政計画」とは、令和5年度の地方団体の歳入歳出総額の見込み額に関するものであり、平たく言えば、集合体として見た地方公共団体全体の予算像と言えるものである。個別の地方公共団体が自らの予算を編成するうえでの実効性の高い指針となっている。

答 町税については、前年対比500万円増、13億2,000万円程度を計上した。今年度は、農家の所得が相当伸びていると見込んでいる。農業分野の施策が功を奏したと期待しているところだ。

全町民の健康増進対策は

石幡 政子 議員

問 「こおり健康楽会」と「ヘルスアップタウンこおり」宣言に基づく新年度の事業は予算増となっており、町民の健康促進事業がより充実している内容となっている。「健康楽会」のサポートグループとして新しくボランティアグループを立ち上げると聞かれましたが、一体となった健康増進事業の取り組みについて伺う。

答 「健康楽会」を中心として**全町民が関わる****ことができるメニューを提示**していくことが、重要と考える。新年度は更に事業内容を充実させ実施していく予算となっている。日本一健康の町を目指し、多くの町民の参加を呼びかけ、自身の健康状態を知るところから始まり健康意識を高め健康増進を図っていく。

「献上桃」の指定継続への考えは

佐藤 榮三 議員

問 令和5年に献上桃30周年を迎えられることは、生産者初め関係各位のためまぬ努力により、達成されたものと思う。新年度予算にもお祝いの記念事業予算が計上され、一生産者として大変うれしく思っている。さらに31年目の献上桃指定に向けた取組みも大変重要な年と考えるが、町長はどのような考え、施策を持っているか伺う。

答 今後、産地を維持していくためには、生産者の高齢化、後継者不足が大きな問題であ

討論

賛成8
反対2

一般会計に対して

反対
齋藤 松夫 議員

反対理由は次の4点だ。

- 1 町計画と民意無視した保育所等民営化推進予算。
- 2 町中心部の蚕糸跡地を外部資本に渡し、新たな土地買収で「歴史文化エリア形成」という本末転倒の予算。
- 3 まちなかの賑わい創出と言いつつ、中山間地エリア軽視の予算。
- 4 総合計画が謳う「町民との共創と効率的な行政運営」に反する事務執行予算、である。

いま求められているのは「自立+自律」の町だ。

賛成

半澤 高 議員

施政方針の中に、新たな視点と手法により「変革と創造」を成し遂げるとあったが、今後それを成し遂げることが出来る予算案であると考え賛成する。

なお、今後各種計画を策

る。地域おこし協力隊の就農に繋がれば効果が期待できる。**他産地との差別化ができる高品質の桃を出荷し**、農家所得の向上を図り環境を整えれば若者たちの就農も期待でき、さらに指定が継続できる。

下成田地区の区域指定に向けては

佐藤 武朗 議員

問 令和5年度中に、下成田地区の一部を都市計画法第34条第11号での区域指定に向け、県の開発審査会まで進めるとある。今後のまちづくりに大変重要な事業であり、町長自ら説明を行い、理解と今後のまちづくりについて説明すべきでは。

答 説明会は過去に2度ほど実施しており、地区では一日でも早い市街化区域にとの要望が出ているが、この都市計画の内容について一部理解が進んでいない。今般、法34条第11号、10号も一気には区域指定を目指し、10号についてはある程度まとまった土地についての開発が可能になる。

区域指定が可能になると、成田地区が相当魅力ある土地と変わっていく。**地域住民の理解を得られるよう説明の機会を作**っていきたいと考えている。

訪れたい桑折の魅力とは

川名 静子 議員

問 旧伊達郡役所を拠点にこのエリアを整備

予算化された令和5年度一般会計予算は、町政、町民生活にとって大切な予算である。

幼保連携認定こども園関連予算については、令和4年度で予算化された残りの令和5年度の予算である。

町立保育所を廃止することなく、幼保連携認定こども園との両立としていたいくことを申し添え賛成討論とする。

新型コロナウイルス感染症拡大により、日常生活が制限された3年間であったが、平常の姿に戻りつつあり、未来に向けて着実に繋げられる予算である。内容は、IC周辺の開発に向けた町道整備設計・調整区域内の下成田地区の区域指定・蚕糸跡地の施設開業・農業に対する各種事業の補助・移住定住に結びつく関連事業等の各種予算と理解する。IC周辺の開発が今後の「まちづくり」の起爆剤として推進することを要望し賛成討論とする。

賛成

佐藤 武朗 議員

賛成

羽根田ひとみ 議員

伊達・桑折インターチェンジ周辺の開発計画に積極的に進められてきたと同時に歴史文化エリアの計画については、町民の声に耳を傾け慎重であったことを評価する。給食無償化などの子育て支援、町民の健康と高齢者に対する優しい政策を今後も期待して賛成する。議場で「みんなで知恵を出し合いながら」という言葉に共感した。

賛成

石幡 政子 議員

学校教育の分野における英語教育の新規事業である英語宿泊体験や学校給食の無償化等、子どもを取り巻く環境への十分な支援を打ち出している。また、インターチェンジ周辺の開発に着手する事業計画は、時代の流れを見据えたものと高く評価し、賛成とする。

する。しかし、点だけでは不十分だ。訪れたい目的はそこでだけ食べられる、買える、体験できることに魅力があり、訪れようとする。本町の魅力を磨き残していかなければならない。震災で取り壊された町並みにも、景観に関わる一定の規制が必要となる。

ここ奥州街道には中央に水路があった。区域限定で掘り起こすのはどうだろう。

桑折がおもしろい。他と違うから二度三度と訪れたい町をどう考えるか。

答 点から線、線から面へと地域資源に磨きをかけていく。桑折宿の歴史を踏まえ小路の活用や余韻を楽しめる景色を作る。水路の話は動きがあれば町は支援する。子どもたちのためにも**ここにしかないものが要**だ。

独自民営事業答弁を変えよ

齋藤 松夫 議員

問 認定こども園整備に係る財源構成（町提出資料）によれば、事業費の約30％は補助金で、残りの70％（8億円余）は事業者負担だ。金融機関からの借入金が発生すると思うが、その場合、町長答弁の通り、企画提案が町営事業の民営化でなく、事業者独自の民営事業ならば、民営認定こども園は相当程度定員に満たない状態となつて、借入金返済財源確保に支障を来すこととなるのではないか。よってそのような企画提案はあり得ないことと考えるがどうか。これまでの町長答弁を変えないければならないのではないか。

答 町長 **変える必要はない。**

賛成

原 賢志 議員

総合計画を実現するための重要な年であり、本予算は計画実現に向けた適切な予算であると評価する。農業の振興発展をはじめ地域経済の更なる発展と地域コミュニティの再生、並びに福島蚕糸跡地活用やIC周辺整備等の着実な事業推進を特に望む。最少の経費で最大の効果を上げるよう職員一丸となつて職務に取り組み、「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こそ」おり「実現に向けた、確かな一歩を踏み出す年となることを信じ賛成討論とする。



ー提案理由の説明ー

令和5年度
各種会計予算額

会計区分	一般会計	特別会計	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	公共下水道	半田財産区	水道事業
予算額	60億 9,260万円	39億 649万円	13億 3,711万円	1億 8,963万円	17億 1,426万円	2億 9,952万円	42万円	3億 6,555万円
前年対比	4億 4,160万円	441万円	▲2,142万円	336万円	1,559万円	718万円	▲49万円	(収益的収入) 19万円 (資本的収入) 0万円

(四捨五入で万円まで)

令和4年度補正予算

年度末整理のため多い減額

一般会計(第10号)

歳入歳出予算の総額からそれぞれ1億1,175万6千円を減額し、予算総額を72億7,574万3千円とするもの。

《主な歳入》

- ・町税増分1,489万円(町民税、法人町民税 固定資産税、町たばこ税等)
- ・普通交付税 4,421万5千円
- ・特別交付税 913万1千円
- ・社会資本整備総合交付金 300万円
- ・がんばるふるさと・桑折応援寄附金 567万1千円
- ・地域づくり資金貸付基金繰入金 2,000万円
- ・前年度繰越金 2,105万9千円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金 ▲1,167万7千円
- ・県安心こども基金特別対策事業補助金(保育所分)

- ▲2,222万3千円
- ・県認定こども園施設整備交付金(幼稚園分) ▲546万円

※建物の設計変更による補助割合の変更

- ・財政調整基金繰入金 ▲3,679万7千円
- ・公共施設維持管理基金繰入金 ▲7,306万6千円
- ・公共土木施設等災害復旧事業債 ▲1,880万円

《主な歳出》

- ・基金管理費 1億6,567万1千円(新規伊達桑折IC周辺インフラ整備基金積立1億2,000万円等)
- ・介護保険特別会計繰出金 ▲4,350万9千円
- ・農業振興対策事業費 ▲1,195万8千円(市民農園管理、モモ穿孔細菌病薬剤防除費、新規就業支援関連事業、農業用資材等高騰緊急支援事業等の不用額)

- ・子育て支援事業費 ▲1,903万8千円
- ・橋梁災害復旧費 ▲2,160万円

- (昭和大橋災害復旧事業不用額)
- ・小学校管理総務費 1,312万7千円(醸芳小、伊達崎小に特別支援学級増設)
- ・清掃総務費 913万1千円(災害廃棄物処理事業に係る衛生処理組合負担金特別交付税措置分)
- ・職員人件費 ▲797万円

※年度末のため、この他に歳入39項目、歳出54項目が提出され、金額の多い費目だけを掲載しました。

討論

賛成9
反対1

令和4年度一般会計補正予算に対して

反対 齋藤 松夫 議員

反対する理由は、本補正予算案のなかに、時期尚早を理由に反対の態度をとった、IC周辺インフラ整備

討論

賛成8
反対2

反対 齋藤 松夫 議員

ラスパイレス指数対策からの職員給与減額措置であり反対である。賃上げが時代の要望となっている今、職員給与の減額は時代の逆行である。今この社会に求められていることは、賃上げであり格差解消だ。その観点からすれば、会計年度任用職員の処遇改善も急務である。そのことを意見として強く求めておくものである。

◆町国民健康保険条例の一部改正

出産一時金8万円が増額に

改正の内容

出産育児一時金の支給額を8万円増の48万8千円に引き上げる改正

質疑

・類似団体との比較は組合との協議、合意は給与はラスパイレスに左右されるのか

基金1億2,000万円が、計上されているからである。質疑でより具体的に明らかにしたが、町が県に対して望んでいる県の「基本計画期間延長」や「倉庫業追加」などは、いまだ確定していないという事実である。この予算計上はそれが確定してからでも遅くはないと考え反対する。

賛成 佐藤 榮三 議員

本補正予算は、ほぼ整理予算であり、その中でも追加された補正については将来の街づくりのための基金積立や、小学校の特別支援学級の増設費用等の小学校管理費で、重要な補正であることから早急に工事を進めるべきものと思いい賛成する。



利用者減から公衆トイレ撤去

◆町清掃施設条例の一部改正

改正の内容

次の2つの公衆トイレは利用者が少なく、建物の老朽化も著しいため撤去する改正

- ・下郡地区八幡神社
- ・万正寺地区観音寺

質疑

・町民や町外者への公衆トイレの必要性は

※他に法改正に伴う一部改正が2件あった。詳しい議案名はP23の議案審議結果表をご覧ください。

条例廃止

10年以上活用の実績がない

◆町地域づくり資金貸付基金条例を廃止する条例

改正の内容

10年以上活用実績がない事からこの条例を廃止し、同等の目的を持つ「ふるさと振興基金」に積立て有効に活用する

定例会提出案件

条例制定

既存条例の廃止に伴い制定
◆町個人情報保護の保護に関する法律施行条例

条例の内容

「個人情報保護の保護に関する法律」が改正され、地方公共団体についても同法が適用されることから既存の条例を廃止し、新たに条例を制定する

町道整備等に備えるため

◆町伊達桑折IC周辺インフラ整備基金条例

条例の内容

「地域未来投資促進法を活用、周辺の町道整備等に備えるため、積立型基金を新たに創設する

質疑

・基金の目標金額と期間は条例の要因は

賛成

岡本 貴士 議員

伊達桑折インターチェンジ周辺の活用は、本町の収入(歳入)の点から重要なも

工事請負契約

これで安心 学校生活

◆町立伊達崎小学校災害復旧工事(第二期)請負契約の締結

- ・工事名 町立伊達崎小学校災害復旧工事(第二期)
- ・契約方法 条件付き一般競争入札
- ・契約金額 9,038万1,720円(うち消費税及び地方消費税の額821万6,520円)
- 〔落札率 92・0%〕
- ・契約相手方 住所 伊達市保原町字東野崎106番地5
- 氏名 株式会社 山崎組
- 代表取締役 山崎操
- ・工期 令和5年3月～11月

町道路線の認定

開発道路として整備された公衆用道路2路線を町道として認定する。

- ・町道2163号線 字東段地内

諮問

- ・町道2164号線 字北町地内

任期満了に伴い人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求める

- ・住所 字陣屋
- ・氏名 渡邊 美昭
- ・任期 令和5年7月～令和8年6月

議会提出条例制定

◆町議会の個人情報保護に関する条例

○国の改正により町とは別に新たに条例を制定する。

同意

町監査委員の選任

- ・住所 国見町大字山崎
- ・氏名 鈴木 頼子
- ・任期 令和9年3月まで

陳情 審査結果

請願・陳情とは

意見や要望を行政に反映させる制度。
※請願・陳情書の作成・提出方法については議会事務局へお問い合わせください。
(電話582・2113)

○日本全体で解決すべき問題として普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める陳情

(陳情者)

- 沖縄県宜野湾市喜友名 1-20-11
- コドソラ
- 代表 与那城千恵美

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

採択(意見書提出)

○子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員等を求める意見書提出を求める陳情

(陳情者)

- 福島市渡利字大豆塚7 (こくら保育園気付)
- 福島県保育連絡会

代表 大宮 勇雄

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

採択(意見書提出)

○庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

(陳情者)

- 福島市野田町字八郎内 57-8
- 福島県を明るくする会
- 代表 嶋原 隆

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

継続審査

○福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書提出の陳情

(陳情者)

- 伊達市保原町字船橋180
- 日本労働組合総連合会
- 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋 誠一

(審査委員会)

産業厚生常任委員会

(審査結果)

採択(意見書提出)

委員会活動報告

総務文教

常任委員会

委員長 齋藤松夫

12/27 1/19
1/24 2/7

本委員会が調査事項としている子ども子育て支援事業については、1月19日、令和5年度に行われる「認定こども園認可申請事務と町の係わり方」に関し、教育文化課長より説明を受け、さらに同24日、まとめを行って3月定例会に臨んだ。もう一つの調査事項である、SDGs宣言具現化については、2月7日、生活環境課長から「桑折町再生可能エネルギー導入推進計画に基づく太陽光発電の普及及び状況」について、総合政策課長からは「桑折町SDGs登録制度に基づく登録状況及び登録団体の活動状況」について説明を受けた。さらに「学校におけるSDGsへの取り組み状況」

について教育文化課長から説明を受け、3月議会での一般質問などにつなげた。

議会運営委員会

委員長 半澤 高

12/22 1/10
2/9 2/20

当委員会では、「一般質問のあり方について」調査を継続中である。

コロナ禍において一般質問をインターネットで視聴している方、特にスマートフォンで視聴している方について調査してきた。次回6月定例会からは、途中から視聴した方にもできる限りわかりやすい方法として、質問と答弁のあり方を変更する。さらには、今後において議場の配置に関して等も協議していく。

委員会研修報告

産業厚生

常任委員会

委員長 佐藤榮三

12/12 2/9

本委員会は、1月18日、19日にネウボラの取組みについて山形県高畠町、朝日町の両町を視察調査した。高畠町の特徴は「妊婦の全数に支援プランを策定し、細やかな支援を実施し、参

加者、相談数が増加」があげられている。また朝日町の特徴は「妊婦の全数をケースカンファレンスで共有し、ハイリスク妊産婦に対する助産師との同行訪問等の支援体制を強化」があげられている。これらの視察調査をもとに、当町のネウボラの現状、今後の取組みなどを調査し、報告書をまとめていく。

広報広聴

常任委員会

委員長 川名静子

12/8、12/15、
1/6、2/23、
2/7 10、27、31

◎広報クリニック受講

町村議会広報クリニックが全国町村議員会館で開催された。講師の前田安正氏(文章コンサルティングファーム未来交創)から、「議会への理解と関心を広

げる広報のために」と講演を受けた。

常に私たちが課題としていた内容で、より多くの町民に関心を持たれる広報誌にするため、今求められている内容、そのための方法等を具体的に例を挙げた説明だった。さらに、そのポイントでは改善に向けて納得できる点が多々あった。

また、各議会広報誌のクリニックのコメントからは、どの議会も工夫されている。本町の「議会だより」においても、多様なニーズに応えられる関心が持たれる紙面づくりをと再確認、収穫の多い研修であった。



先進地 高畠町の取組みを視察



2/16 全国広報クリニック

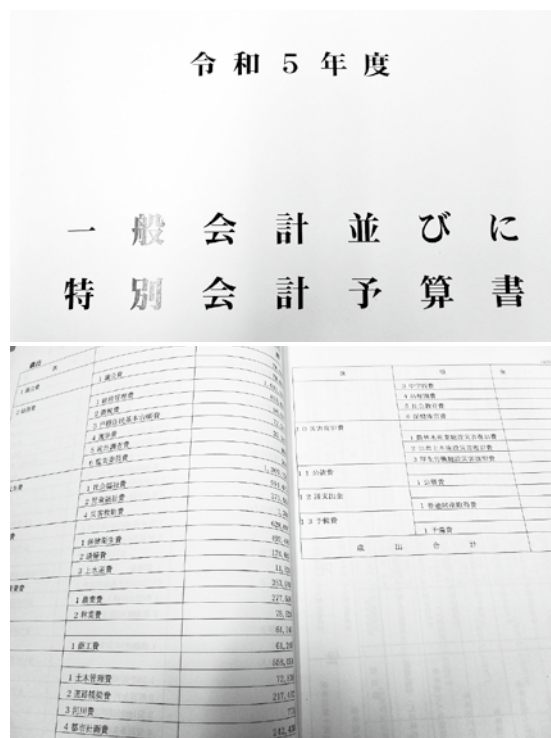


意見書はこちらから



川名 静子 議員

「住み続けたい」と思う予算か 計画に沿った施策に配分した



—住民サービスは十分か—

問 町民が「住み続けたい」と考えるのは税金が安く行政サービス等が行き届いている。5年度の予算はどうか。

答 町長 前年度総括をどう活かして町民の将来負担を抑えた予算となるような指示は。コロナ対策等々着実に展開できた。本年は基本方針に沿った施策に配分し、健全で持続可能な財政運営を基本に編成した。特にIC周辺の整備検討、町に呼び込む「人流」への施策が重要と考え予算を計上した。

問 町民要望の多い町道整備の予算が少ない。維持管理計画の公表、優先順位を説明すべきでは。

答 町長 重要性・実施環境等を勘案し予算を確保、要望に応えたい。

問 DXの導入推進はどんな効果をもたらしたか。

答 町長 維持管理、通信料等の固定経費は増だが、行政手続きオンライン化事業等は住民サービス向上や庁内業務の効率化は図られている。

問 今年入園する保育所の2歳児にとって、どちらの幼稚園を選択するのか。入れるのか。なぜ入れないのか。

答 町長 希望した全員が入れるわけではない。なぜそうなのか、詳しい説明が必要なの時期ではないか。

問 10月から園児の募集を行うことから、8月中に保護者を対象に説明を行う。

問 質の高い保育には、保育士の配置基準や子どもの発達をどう下支えできるかが問われるのでは。

答 教育長 環境を通しての遊びを中心とした総合的な指導の充実から質の向上を図ることとしている。

問 既に財政計画の中には保育所、幼稚園勤務の任用職員の人件費が減になっているではないか。

答 町長 可能な限り意向に添えるよう務める。

これも 質問

問 プラン策定のアンケート結果町民理解はまだだ

答 町民の意識づくしへの浸透を図っていく

問 町の名物を継承する地域おこし協力隊募集は

答 様々な分野でマッチすれば積極的に活用する

一般質問

町政を問う 60分

- ◇議員が事前通告した内容に基づいて、一人持ち時間60分で行われます。
- ◇内容は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
- ◇質問項目は、通告によるものです。
- ◇議会ホームページ(録画)で過去一年分までご覧いただけます。

詳しくはこちらから



登壇議員	質 問 事 項
川 名 静 子 (15ページ)	① 令和5年度予算 町民に寄り添った予算であるか ② 令和6年4月開設予定の「認定こども園」に関して 3. 第3次 男女共同参画プラン策定の進捗状況に関して 4. 様々な分野における地域おこし協力隊の募集に関して
鈴 木 隆 志 (16ページ)	① 町内における防犯対策について 2. 学校給食における地元産有機食材の活用について ③ 幼保連携認定こども園の受け入れ体制について 4. 幼保連携認定こども園開業に向けての事務について
羽根田 ひとみ (17ページ)	① 「デジタルサポート窓口」設置について ② ピーチリパーク157の活用「ドッグラン設置」について 3. 旧伊達郡役所およびふれあい公園の活用について 4. 町民の防犯意識の高揚について
岡 本 貴 士 (18ページ)	① 町民の声「光熱費などの値上げで、生活に大きな打撃を受けている」をお預かりした。苦しむ町民への町長のお考えを伺う。 2. コロナ禍による町民の所得減少を懸念している。所得階層別納税義務者数(令和3年度)を伺う。 3. 町民の声「若者の投票率低迷を心配している」をお預かりした。投票率向上へのお考えを伺う。 ④ 町民の声「桑折町のふるさと納税額は増えているのか」をお預かりした。ふるさと納税の受入状況を伺う。 5. 私は新聞折込チラシ・ホームページ・SNS・FAXで町民の意見を頂戴している。町の広聴活動の取り組みを伺う。
半 澤 高 (19ページ)	① どうなる?今後のコロナ対策。マスクは、ワクチン接種は、ふだんの生活は、など。 ② 衛生処理組合清掃センター「ごみ焼却施設」の更新・改修に対する桑折町のスタンスは。 3. 伊達桑折IC周辺の開発に関する現況は。
石 幡 政 子 (20ページ)	① 学校教育における質の高い教育の推進について ② SDGsの推進とごみ減量化問題について 3. 商店街の景観保全について
齋 藤 松 夫 (21ページ)	① アスベストを含む廃棄物が出た事実(蚕糸跡地・処理費用5,200万円)を長期にわたり公にせず、処理費用の半分を町負担と決定してから議会への報告・説明となったことについて 2. 昨年3月定例会で撤回した「事業費5億円ともなる観光交流センター建設事業計画」を復活させ、土地買収の段階に入っていることについて ③ 認定こども園事業者の選定方法の適否及び、同事業者の企画提案が「町事業の民営化ではなく事業者独自の民営事業提案」だったとする答弁について 4. 桑折町町長等政治倫理条例の遵守について 5. 原子力損害賠償審査会による中間指針見直し本格化。そうさせた要因は「7件の集団訴訟にある」との評価(福島民友新聞2月11日報道)が出ていることについて



羽根田 ひとみ 議員

ピーチリパークにドッグラン設置を 4月16日のイベントで実証実験をする



—自由に走りまわれるペト—

問 昨本年町阿武隈川河川敷にピーチリパーク157ができた。町民や町外の方々に利用いただき楽しんでもらうことは町民サービスまた、交流人口の拡大にもつながると考える。そこで、近年、ペットを飼う家庭が増えていることをうけ、ピーチリパーク157に「ドッグラン」を設置してはどうか。

答 町長 ドッグランは各地に設置され、ペット愛好家に変好評であることから、施設並びに運営等について調査するとともに、4月16日に開催するイベントにおいて、実証実験実施を検討する。



鈴木 隆志 議員

防犯対策、町民意識の向上は 地域ぐるみで取り組むことが重要



—もう一度 防犯対策を考えてみては—

福島県内でも、強盗など「窃盗犯」の犯罪件数が増加していることから次の点を伺う。
問 町民の防犯意識高揚に向けた対応は。
答 町長 速やかに広報お知らせ版にて、町民への注意喚起をした。今後とも、引き続き強く町民に呼びかけていく。さらに警察・防犯協会連合会と連携し、広報・啓発活動に努めていく。防犯対策用グッズ購入

に対する町の助成はあるのか。
答 町長 町民一人ひとりが「生命・財産は自分で守る」を基本に助成は考えていない。
問 町公共施設の防犯対策は万全か。
答 町長 出入口を制限すると共に防犯カメラ、機械警備システム等のセキュリティシステムの確保を図っている。警察等関係機関の指導のもと定期的に防犯訓練を行っている。

これも 質問

- 問** 旧伊達郡役所・ピーチウィングの貸し出しは
答 旧郡役所は厳格基準。ピーチウィングは利用促進
問 防犯意識の高揚について
答 児童の声で防犯啓発放送を開始する

「デジタルサポート窓口」設置を 先進事例を調査研究していく

問 近年、デジタル活用によるサービスが多くなっているが、操作方法が分からず困っている人がいる。多くの人が使用できれば、町としての広報や連絡、行政サービスの向上に繋がると考える。特に災害・防犯などの速やかな対応、また、一人暮らしの孤独解消・生存確認になる。そこで、スマートフォンなどの操作を誰でも相談できる窓口を設置できないものか。

答 町長 SNSで行政やイベント情報、災害時の緊急情報等を発信しているが、一部の町民にとどまっている。利用者増に向けた広報強化と「スマホ・タブレット教室」の回数を増やす。相談窓口は人的配置や経費負担が伴うので調査研究していく。

これも 質問

- 問** 学校給食の地元産食材の提供は十分か
答 年間を通じ、地元産食材の提供に努めている
問 認定こども園の設置認可に向けた取組は
答 12月に本申請、令和6年3月設置認可予定だ

**認定こども園の受け入れ体制は
町内在住者を優先して受け入れる**
認定こども園開園の報道があつてから、町民、町外在勤者等より、多くの声から次の点を伺う。
問 令和5年4月から令和6年4月に開園時期が変更となった理由は。
答 町長 町立保育所を廃止し、認定こども園に移行することに伴い変更となった。
問 福島蚕糸跡地造成中に出土廃棄物処理により、開園時期に変更はないのか。
答 町長 令和5年4月中に廃棄物処理が完了する見込みで、開園時期に影響はない。
問 町外在勤者に対して、町内在住者を優先したことの説明はしているのか。
答 町長 当初より町外在勤者も受け入れ可能で、特段の説明はしていない。
問 「認定こども園」開園に伴う職員の業務配分はどうするのか。
答 町長 保育所廃止を契機に新たな業務量精査に努める。



岡本貴士議員

物価高騰、高齢者への支援を求む 国・県の動向を注視する

問 国の物価高対策の支援は低所得・子育て世帯を対象としている。町の取り組みとして、高齢者世帯（60歳以上）へ支援するべきであると考えているが、町長の考えを伺う。

答 町長 物価高対策については、とりわけ強い影響を受ける低所得者世帯に対し、現金給付や灯油券配付により重点的に行ってきた。子育て世帯への商品券配付、全ての世帯を対象としたプレミアム商品券発行等を実施してきたところであり、今後とも国・県等の動向を注視するとともに、町村会を通じて要望してまいります。

問 今後の「ふるさと納税」の受入額増加への取り組みを伺う。

答 町長 ふるさと納税については、昨年3月議会定例会の一般質問において、議員より「返礼品（桃）の寄附額1万円」の追加と「フルーツ定期便」の提案を受けた。早速、昨年夏に見直しを図った結果、納税額増加に繋がったところである。

「ふるさと納税」で町の収入増を 一層の確保に努める

今後においても引き続き、魅力ある返礼品の拡充と制度のさらなる周知を図りながら、納税額の一層の確保に努めてまいります。（昨年と比べて寄附件数は1,742件増加した／集計期間は令和4年4月～令和5年1月の10カ月間）

低所得・子育て世帯

「だけ」



ではない。

—国は少子化対策ばかり、町が支援を。—

これも質問

問 若者の投票率向上に向けた取り組みは

答 有効な方策について引き続き研究する

問 広聴活動の取り組みは

答 町民意見を寄せてもらえる機会を充実させる



半澤高議員

ごみ焼却炉改修への対応は 地元・町民の理解が必要



—どうする？ 焼却炉改修—

問 伊達地方衛生処理組合のごみ焼却施設は平成7年稼働開始以来、28年の稼働期間を迎える。更新・改修「待ったなし」の時期では。

答 町長 更新を前提に管理者会において、議論を進めていくべき時期である。
問 現在地で建て替えとなった場合の町の対応は。

答 町長 これまで構成市町において候補地絞り込み等の経過があったが、引き受け市町がなく今日に至っている。また、ガス化熔融炉導入により焼却残渣の再燃焼を行い、最終処分場の延命策をも検討中だ。そのような状況のもと構成市町の市民・町民の衛生行政を維持していくために、現実的対応として、現在地に受け入れざるを得ないとなれば、地元はもとより町民の理解を得ることを前提に、対応していく。

町施設でのマスク着用は 当面の間、着用の協力を

問 政府は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを、今年5月から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる。マスク着用については「個人の判断に委ねる」として

答 町長 マスクについては、国の方針において「着用については個人の判断に委ねる」とともに「医療機関受診時や高齢者施設等の訪問時など、基礎疾患を有する方や妊婦、高齢者等重症化リスクの高い方への感染を防ぐ必要がある場面では着用を推奨する」としたことから公共施設内にあっては、感染拡大防止のため、会議時も含め当面の間マスク着用の協力をお願いする。

これも質問

問 伊達桑折IC周辺開発「要望会」とは

答 開発を目指す地権者・事業者が出席



石 幡 政 子 議 員

グローバル時代対応の教育は 英語教育の充実で資質向上を

問 近年、子どもたちを取り巻く環境は、グローバル時代の到来、高度情報化社会の進展とともに急速に変化している。時代の変革に対応できる子どもたちの人間力向上を目指す教育が重要となっているが、その一つとして、英語教育についてどのような学習に取り組み、今後どのように進めていくものか伺う。

答 教育長 英語教育については、子どもたちに聞く・話す・読む・書くの技能を身に付け伸ばすために、英語指導助手や英語指導協力員等を活用した学習を計画的、継続的に進めており、中学生に対する英検受験の推奨、その費用の助成にも取り組んでいる。さらに新年度は中学2年生を対象に1泊2日の英語体験活動を実施するよう予算計上したところである。



－充実した英語体験を（ブリティッシュヒルズ－天栄村）－

問 福島県はごみの排出量が全国ワースト3との報道があったが、本町においても排出量が多いと聞く。その要因と対策について伺う。

答 町長 令和3年度の町のごみ排出量は、総量で5,196トンで、一人1日あたりの排出量は1,234gで県平均を上回る状況である。要因については、プラスチックごみや紙類の分別不徹底、災害による片付けごみ、コロナ禍でのテイクアウト容器等の家庭ごみの増加と捉えている。対策としては、小学校やサロン等でのごみの出し方教室の開催を増やし意識の高揚を図る。また、生ごみ処理容器購入時の助成金制度を拡大する等、減量化に取り組んでいく。

ごみ減量化に向けての施策は きめ細かな分別教室を開催する

これも 質 問

問 商店街の景観整備対策は

答 フレコンバック撤収は早急に進める

問 蚕糸跡地利活用プロジェクトでの最優秀事業者の企画提案が「町事業の民営化でなく事業者独自の民営事業であった」とする町長答弁は誤りであり、この事務に関する根本的総括が必要ではないか。また事業者独自の民営事業開設であるならば、町立幼稚園・同保育所プラス認定こども園の合計定員は600人にも

なる。このような計画で県への認可申請が通ると思うのか。

答 町長 民間事業者の提案なので独自民営事業であるとの考えに変わりはない。認可申請が通るかについては、大変難しいことと考える。



－多量のアスベスト含有廃棄物－蚕糸跡地から－

問 アスベストを含む廃棄物が蚕糸跡地から出たことを、7ヶ月間も議会に報告せず、5,200万円余の処理費用を折半と決めてから報告したのは重大問題だ。事業者公募のプロポーザル実施要項ではどのように定めていたか伺う。

答 町長 実施要項(5)その他の特記事項、③瑕疵担保において「事業者は、事業用定期借地に係る本契約締結後に隠れた瑕疵(地下埋設物を含む)があることを発見しても、土地の地代減額、保証金の減額、損害賠償の請求、本契約の全部又は一部の解除若しくは事業水準の変更の請求をすることができないものとし、ます」と謳っている。

業者公募実施要項の定めは 要項(5)③瑕疵担保で謳う

これも 質 問

問 町民への原発被害追加賠償総額は

答 およそ8億円前後となる

問 町長等倫理条例での「報酬」をどう解するか

答 狭義の解釈で役員報酬だ

問 凍結前の歴史文化エリア整備事業の概算費は

答 約5億6,000万円だ



齋 藤 松 夫 議 員

「町長答弁」で認可申請通るか 大変難しいことである

「議会モニター」と広報公聴委員会の会議を開催

令和5年1月22日

- ・班編成：モニター歴1年目と2年目以上の2グループ
- ・テーマ：「議会モニターの職務を振り返って」
- ・方 法：ワークショップ形式
- ※年間活動から十分に意見交換ができ、結論を導き出すことができたとは好評だった。



	出された意見	意見交換後の結論・要望
議会だより、HPに関して	・「議会だより」を年4回カラーで出すことは	・年1回ならよいがカラーでなくても良い
	・検討・研究とはいつまでか表現されるといい	・読んでわかる文になるよう、できる限り編集で工夫していきたい
	・初めて読んでわかるには前の経過が必要では	
	・専門用語はNG、コメントを入れて欲しい	
会議傍聴・録画視聴に関して	・字が大きく読みやすくなった	
	・議員の写真、マスクを外しては	・コロナの感染状況を見極めて判断したい
	・町へのメールは誰が見て返信しているのか	・総合政策課が受信し担当課へ、返送は担当課がする
会議傍聴・録画視聴に関して	・なぜモニター制度を導入したのか	・議会を解ってもらうためモニターの力を借りたい。住民参加の議会に必要、議会との橋渡しになって欲しい
	・ダブる質問は得意分野の議員に任せては	・会派制ではないのでダブっても仕方ない
	・傍聴者を増やす工夫は、スマホでも見ている	・スマホやネット配信の時代でもあるので配信方法は現在検討中。
議会報告・委員会との意見交換	・録画公開の期日はいつまで	・1年間保存してある
	・傍聴用の議案書はあるが探せない。見出し等を付け見やすくできないか	・事務局と前向きに検討中です
	・傍聴、議会に関心が薄い	・傍聴人が多いと議場の雰囲気、緊張が違います
その他	・各地区での報告会を定例化すれば町民の声も聴ける。日程は週末の夜が望ましい	・いただいたアンケートを集計し答えていく
	・地区、テーマ、年代、課題別等の集まりなら意見も出しやすいのでは	・報告会は別に行い、町民会議を多く開催していく
	・委員会とは年2回以上だが、定例会毎に行ってはどうか	・意見交換のテーマの内容はモニターさんに決めて頂いてもいいと思います
	・議会モニターだけの会議をしてはどうか	・会議の持ち方は委員会で話し合います
その他	・町民からの疑問には早く返答が欲しい	・心がけております
	・モニターの職務への追加はないか	・特になし
	・政策サポーター制度導入は中止か、検討はしていないのか	・していない
その他	・タブレット導入は中止になったのか	・辞めたわけではない。別な使い方があるものなのかも含め検討している。資料によっては補助的な活用もできる

自治功労者へ表彰伝達

おめでとうございます。



定例会初日、開催に先立ち全国町村会議議長会よりの伝達が行われた。
本町からは15年以上在職し、功労のあった議員3名に贈られた。

- ・片平 秀雄 議員
- ・川名 静子 議員
- ・佐藤 榮三 議員

地方自治研究交流セミナー

1／11 川俣町役場

「議員のなり手不足解消に向けた方策について」

三回コース最終の研修会が国見、桑折、川俣各町の議員が参加し開催された。講師は、福島大学行政政策学類教授岸見太一氏。初めに「なぜ、なり手がいないのか」については、町村議会選挙での無投票当選の割合が増加している事の背景にあるものは何か。『どのようにして新しい層のなり手を増やすか』の課

議案審議結果表

令和5年第1回桑折町議会定例会 ○賛否の分かれた議案

議案名	議員名	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	齋藤松夫	佐藤武朗	佐藤榮三	川名静子	半澤 高	原 賢志	議長	可否
議案第2号 桑折町伊達桑折IC周辺インフラ整備基金条例		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	－	可決
議案第4号 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	－	可決
議案第11号 令和4年度桑折町一般会計補正予算(第10号)		○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	－	可決
諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	－	適任
議案第17号 令和5年度桑折町一般会計予算		○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	－	可決

○：賛成 ●：反対 □：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者	議案名	討論者
議案第1号 桑折町個人情報の保護に関する法律施行条例		発委第1号 桑折町議会の個人情報の保護に関する条例	
議案第3号 桑折町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例		議案第18号 令和5年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	齋藤松夫
議案第5号 桑折町国民健康保険条例の一部を改正する条例		議案第19号 令和5年度桑折町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第6号 桑折町清掃施設条例の一部を改正する条例		議案第20号 令和5年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	
議案第7号 桑折町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例		議案第21号 令和5年度桑折町公共下水道事業特別会計予算	
議案第8号 桑折町地域づくり資金貸付基金条例を廃止する条例		議案第22号 令和5年度桑折町半田財産区特別会計予算	
議案第9号 桑折町道路線の認定について		議案第23号 令和5年度桑折町水道事業会計予算	
議案第10号 桑折町立伊達崎小学校災害復旧工事(第3期)請負契約の締結について		発委第1号 桑折町議会の個人情報の保護に関する条例	
議案第12号 令和4年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)		発委第2号 普天間基地周辺の子どもたちを取り巻く空・水・土の安全の保障を求める意見書(案)	
議案第13号 令和4年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		発委第3号 子どものために保育士配置基準の引き上げによる保育士増員等を求める意見書(案)	
議案第14号 令和4年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)		発委第4号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書(案)	
議案第15号 令和4年度桑折町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)			常任委員会の閉会中の継続審査の申し出について
議案第16号 令和4年度桑折町半田財産区特別会計補正予算(第1号)			閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について

※報告は採決なし

議 員 活 動 状 況 報 告 (各 常 任 委 員 会 活 動 な ど を 除 く)		令和 4 年 1 2 月 定 例 会 報 告 以 降	
活 動 状 況		対 象 者	
令和 4 年 第 7 回 桑 折 町 議 会 定 例 会			
12 月 6 日 ～ 12 月 12 日		全 議 員	
議 会 全 員 協 議 会			
12 月 6 日 ～ 12 月 12 日 12 月 22 日 1 月 7 日 2 月 21 日		全 議 員	
例 月 出 納 検 査			
12 月 23 日 1 月 25 日		選 出 委 員	
伊 達 地 方 消 防 組 合 議 会			
12 月 20 日 伊 達 地 方 消 防 組 合 議 会 全 員 協 議 会		選 出 議 員	
〃 令 和 4 年 度 第 5 回 伊 達 地 方 消 防 組 合 議 会 臨 時 会		〃	
12 月 20 ・ 21 日 伊 達 地 方 消 防 組 合 議 会 視 察 研 修		〃	
2 月 13 日 伊 達 地 方 消 防 組 合 中 央 消 防 署 西 分 署 改 築 工 事 安 全 祈 願 祭		議 長、選 出 議 員	
公 立 藤 田 病 院 議 会			
12 月 23 日 公 立 藤 田 病 院 議 会 全 員 協 議 会		選 出 議 員	
〃 令 和 4 年 度 第 4 回 公 立 藤 田 病 院 議 会 臨 時 会		〃	
福 島 地 方 水 道 用 水 供 給 企 業 団 議 会			
2 月 15 日 福 島 地 方 水 道 用 水 供 給 企 業 団 議 会 定 例 会 打 合 せ		議 長	
2 月 21 日 令 和 5 年 2 月 福 島 地 方 水 道 用 水 供 給 企 業 団 議 会 定 例 会		〃	
伊 達 地 方 衛 生 処 理 組 合 議 会			
12 月 26 日 伊 達 地 方 衛 生 処 理 組 合 議 会 全 員 協 議 会		選 出 議 員	
〃 令 和 4 年 度 第 4 回 伊 達 地 方 衛 生 処 理 組 合 議 会 臨 時 会		〃	
1 月 12 ・ 13 日 伊 達 地 方 衛 生 処 理 組 合 議 会 議 員 視 察 調 査		〃	
福 島 県 町 村 議 会 議 長 会			
1 月 16 日 福 島 県 町 村 議 会 議 長 会 正 副 会 長 会 議		議 長	
〃 福 島 県 町 村 議 会 議 長 会 理 事 ・ 監 査 合 同 会 議		〃	
2 月 16 日 全 国 町 村 議 会 議 長 会 令 和 4 年 度 町 村 議 会 広 報 ク リ ニ ッ ク		〃	
2 月 27 日 福 島 県 町 村 議 会 議 長 会 正 副 議 長 会 定 期 総 会		〃	
福 島 県 市 町 村 総 合 事 務 組 合 議 会			
2 月 27 日 令 和 5 年 2 月 福 島 県 市 町 村 総 合 事 務 組 合 議 会 定 例 会		議 長	
伊 達 郡 町 村 議 会 議 長 会			
12 月 20 日 伊 達 郡 町 村 議 会 議 長 会 議		議 長	
2 月 21 日 伊 達 郡 町 村 議 会 議 長 会 議 会 伊 達 郡 振 興 懇 談 会		〃	
そ の 他 行 事			
12 月 6 日 ふ く し ま 未 来 農 業 協 同 組 合 あ ん ぽ 柿 100 周 年 記 念 式 典、祝 賀 会		議 長	
12 月 18 日 桑 折 醸 会 純 米 吟 醸「辛 口 桑 折」誕 生 10 周 年 記 念 祝 賀 会 及 び 令 和 4 年 度 純 米 吟 醸「辛 口 桑 折 生 酒」試 飲 発 表 会		副 議 長	
12 月 24 日 旧 伊 達 郡 役 所 リ ニ ュ ー アル オ ー プ ン 記 念 事 業「こ お り プ レ ミ ア ム Xmas」		議 長	
1 月 1 日 諏 訪 神 社 元 旦 祭		〃	
1 月 5 日 交 通 三 団 体 交 通 安 全 祈 願 祭		〃	
1 月 8 日 令 和 5 年 度 桑 折 町 二 十 歳 の 成 人 式		全 議 員	
1 月 8 日 桑 折 町 消 防 団 出 初 式		議 長	
1 月 10 日 桑 折 町 老 人 ク ラ ブ 連 合 会 来 庁		〃	
1 月 18 日 桑 折 西 山 城 を 守 る 会 役 員 会、情 報 交 換 会		〃	
1 月 21 日 斉 藤 修 様 褒 章 受 章 祝 賀 会		〃	
1 月 26 ・ 27 日 福 島 県 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 来 庁		〃	
1 月 29 日 第 69 回 文 化 財 防 火 デ ー 文 化 財 防 火 訓 練		全 議 員	
2 月 10 日 建 設 業 三 団 体 合 同 新 年 会		議 長	
2 月 13 日 令 和 4 年 度 桑 折 町 児 童 SDGs 推 進 環 境 保 全 啓 発 作 品 コ ン ク ー ル 審 査 会		議 長	
2 月 15 日 令 和 4 年 度 桑 折 町 高 齢 者 作 品 展		〃	
2 月 15 日 「伊 達 桑 折 IC 周 辺 地」ま ち づ く り 研 究 会		議 長、選 出 議 員	
2 月 16 日 福 島 県 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 議 会 運 営 協 議 会 ・ 定 例 会		議 長	
2 月 18 日 桑 折 町 消 防 団 ラ ッ パ 隊 新 年 会		〃	

詳しくは、こちらから



詳しくは、こちらから



「議会モニター」一年間を振り返って

令和4年度モニターの皆さま一年間ありがとうございました。
これまで傍聴や「議会だより」に関してモニター目線からの気づき、ご意見等を頂きました。
即できる事は取り入れました。検討に時間を要する内容もあります。
「町民と共に歩む議会」を目指し、委員会としての役割を果たしていきます。

- 1の問 「議会モニター」の年間活動を通じた感想や意見
2の問 「議会だより」をご覧になったの感想や意見、改善点など

川村滋道モニター

1. 災害時の各補助金や制度は周知だけではなく地域毎に制度内容の詳しい説明が必要ではないか。
2. 少しづつ改善が見られるが一部広報化しているとの指摘もあり、多くの町民を登場させてはの意見もある。

A、検討してみます

佐々木明モニター

1. 議会の応援団として奮闘したが変わらない現実に失望。議会に住民の課題に取組むべきだ。議員に憧れる住民が増えるようになれば良い。
2. 議会での議論や対策等が文面からは読み取れない。詳しく記載して欲しい。

A、分かり易い広報誌を目指します

津田健一モニター

1. 傍聴や会議への参加は議員活動や町政について考えるきっかけになった。一般質問で「検討・研究」の答弁は、次の定例会で確認する必要がある。
2. QRコードの貼り付けは良いアイデアだ。一般質問も分かり易く見やすい。町民の声は今後も続けて欲しい。

A、ご指摘有難うございます

酒井真理子モニター

1. モニターになる機会がなければ興味のない議会を知らずにいるところだった。自分の住む町を知る、参加できて良かった。
2. 工夫が見られる。専門用語は分かり易く見出しを付けテーマで分けると良い。紙もいいが若者にはネットを使ってもいい。

A、ご指摘の点氣をつけます

穴戸守モニター

1. 本会議はネットでも視聴できるが、議場で傍聴している。議員や町長が見られていることが伝わるからです。今後も議場での傍聴を続けたいと思う。
2. 冬号の表紙はいい感じだが、必ず載せる必要がある内容か検討しても良い。

A、内容を検討していきます

二階堂洋子モニター

1. 議会を傍聴するなど考えられなかったが、モニターを引き受けすごく良かった点です。
2. 「議会だより」はじっくり読むようになった。今後の課題は若い人達に関心を持ってもらう事だ。

A、いい考えをぜひ頂きたい

山川多美子モニター

1. 町を知る良い機会となった。さらに町の良さを発信して欲しい。町政への関心を持ち何か自分にもできることがあるかもしれないと思った。
2. 文字数が多くなると単調で読みにくくなる。誰もが読みたくなる紙面に。

A、今後も努力していきます

吉田良崇モニター

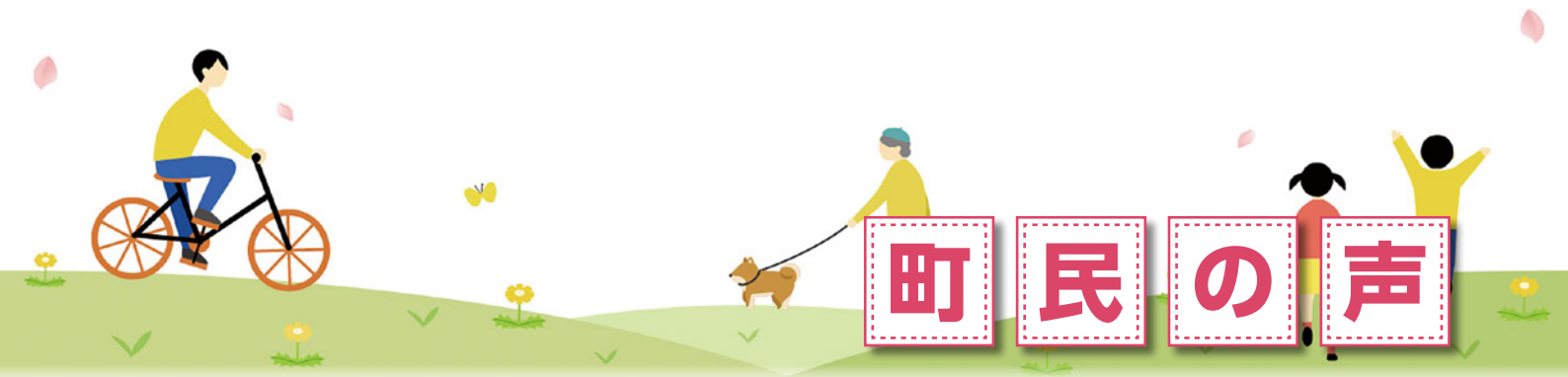
1. 中継を見ていているとなまりを出さずにしゃべろうとしているが聞き取りにくくなっている。良い町にするために町も議会も取組まれている、有難い。
2. 議員活動などの記事報告が多くなると思うが、一人でも多くの方々に読んで頂く事を願います。

A、頑張って編集します

※令和5年度の「議会モニター」の方々は、次回「夏号」で紹介します。

議会報告・意見交換会開催のお知らせ

日 時 令和5年4月29日(土) 午後7時から(2時間程度)
場 所 イコーゼ！ 多目的スタジオ
詳しくは、各戸配付のチラシをご覧ください。



議会広報委員会では発行後、各地区数名の方々にアンケート調査にご協力を頂いております。皆様からの率直な生の声として、「町民の声」のページに掲載しております。わかりやすい、伝わる紙面づくり、編集に生かさせて頂きます。

「議会傍聴」から

- ・3回以上傍聴したこと
2名

「傍聴して気づいた点」

- ・全員協議会の資料を傍聴者へも配付してほしい

「議会だより」アンケートから

- ・毎回読む
8名
- ・目にした時に読む
4名

「議会だより」を読んで

気づいた点・要望など

- ・文字数が多い

(30代女性)

- ・「議会だより」だけで難しい内容の気がする。豆知識のようなコーナーがあったら

(60代女性)

- ・半田、睦合地区は獣害が多く年々離農者が増えている。耕作放棄地が増大、農業環境が失われる。議会で害獣対策を取り上げてほしい

(70代男性)

- ・まちの歳時記に西山城も掲載して欲しい。素晴らしい議会だよりでした。

(70代男性)

- ・女性議員の活躍に期待。同じ町内でも町外れは取り残されていると感じる。町内会長も頑張っているが議員の働きで更に町をもっと良くして欲しい。

(60代女性)

編集後記

平成のヒット曲の歌詞に「あの頃の未来に僕は立っているのかな」というものがあった。新幹線が、高速道路が通り、工業団地が建っている桑折町の現在の風景を眺めていて思い出すのは、小学生だった頃に友達の家で見た絵本である。その絵本には「日本の将来」はこうなると予想図が描かれていた。まさしくその絵の通りになっており、現在の桑折町は「あの頃の未来」そのものである。閑話休題、今の子どもたちのために「未来の桑折町」「未来の日本」を描いたらどうなるのだろうか。人口減少や先行き不透明な世界情勢など取り巻く環境は厳しいが、夢のある未来予想図を描いてみたい。

半澤 高

■広報広聴委員会 編集委員

委員長 川 名 静 子 委員 半 澤 高
副委員長 鈴 木 隆 志 委員 羽根田 ひとみ

まちの歳時記 ～誇れる未来に向かって～



議会だより

令和5年4月13日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 片 平 秀 雄
編集 議会広報広聴常任委員会
電話 (024) 582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<https://www.town.koori.fukushima.jp>